

平野の杜

学校の教育目標

志をもって学び、郷土を愛し、共に高め合い
未来を切り拓いていく生徒の育成

令和4年5月25日 文責 副校長 藤田 天平

◆本年度の委員の皆様よろしくお願いします！

5月13日（金）15：00から本年度の第1回学校運営協議会を開催しました。本年度の委員の皆様を紹介します。今年度も4回の協議会を予定しております。委員の皆様どうぞよろしくお願いします。

学識経験者	伊藤 克治 様（福岡教育大学教授）	委員	中村 博巳 様（南ヶ丘1区長）
会長	黒上 勝史 様（本校元PTA会長）	委員	高原 清美 様（南ヶ丘2副区長）
副会長	永野さおり 様（本校PTA副会長）	委員	古賀 綾子 様（南地区主任児童委員）
委員	羽立 高子 様（月の浦副区長）	委員	高橋 俊治 様（平野小学校長）
委員	永野 元生 様（平野台区長）	委員	松尾 克己 様（大野南小学校長）
委員	川邊 満徳 様（牛頸区長）	委員	萩尾 智子 様（月の浦小学校長）
委員	川邊 勝滋 様（若草区長）	委員	鬼倉 未怜 様（教育委員会）
委員	日永田貞代 様（つつじヶ丘区長）		



◆学校経営要綱の承認を得ました 「自己指導能力の育成」

会のはじめに、日下部 達矢校長から本年度の学校経営要綱について説明を行いました。まずは、現在の教育の動向をふまえた「令和の日本型学校教育の実現」のために「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化に向けた取組が必要であることを説明しました。そして、平野中学校は「もう一人の自分に気づく」「もう一人の自分から見つめる」「もう一人の自分が育てる」をキーワードに、子どもたちの「自己指導能力（生徒が、自己の生き方に向き合い、自己実現を達成するために、社会や集団の変化に対応しながら主体的に自己の判断、責任において自らの行動を決定することができる力）」の育成に向けて教育活動を行っていくことを説明し、委員の皆様承認を得ました。この承認を受け、本校では「仁」「志」「礼」を重点目標として1年間の教育活動を進めていきます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いします。



◆ 1・2年代表生徒との意見交流 「校則って必要なの？」

会の後半では、本校1・2年生の代表生徒8名を交えて「校則の在り方」について意見交流を行いました。ここ数年、LGBTQ、ジェンダーレスの考え方が世の中に浸透し、学校においても男女の制服や校則の問題が大きく取り上げられています。今後、学校でも子どもたちの意見を取り入れながら、校則の見直しを図っていきます。また、大野城市も今年度制服等の検討委員会を開催する予定となっております。今回の意見交流はその前段階として位置づけ、今回の意見等を参考にしながら今後の見直しにつなげていきたいと考えております。今回の交流で出された意見を紹介します（一部抜粋）

- 自由度を増やすと際限がなくなるので線引きが必要。ある程度厳しさが必要。人間の尊厳にかかわるものはフリーにしなければならない。
- 学校生活を安心・安全に送ることができるので線引きする。
- 今の時代に合ったものを一つひとつ検討する必要がある。
- 今のうちに学校のルールを守る意識がないと、社会に出てルールを守ることができない。
- 多くの人が生活する中でお互いが楽しく過ごすためにも校則は必要。
- 昔はあまり厳しくなかったが、みんな自分なりに考えて判断していた。正しい判断ができない人がいるなら校則は必要。



◆学識経験者 伊藤教授よりご指導をいただきました

会の最後に福岡教育大学教授の伊藤 克治先生から大きく3点の指導・助言をいただきました。（一部要約）

- ①学校運営協議会の義務・責任について
 - 学校運営協議会は、校長の学校経営について承認、意見、協議を行う会であり、本日の会はその義務と責任を果たしていた。
 - 学校経営要綱の中で示されている自己指導能力などの非認知能力の育成は、現在社会で求められている能力につながるものである。その育成は学校だけでなく、地域・家庭・学校が一体となって行う必要がある。
- ②コロナ禍での活動について
 - 新型コロナウイルス拡大により、以前のような活動ができないという制限がある中においても、平野中学校では地域との連携を図りながらウィズコロナで活動を再開しようとしていることに大変意義がある。
- ③生徒を参加させての協議会について
 - 今回の校則についての協議の中に、生徒を参加させたことに意義がある。
 - 時代が変わると価値が変わることがある。世代を超えた協議を行うことは今後も必要である。
 - ルールとマナーとモラルを分けて考えることが大切である。

以上の指導・助言を受けて今後の教育活動の中で次の2点について改善を図っていきます。

- ①自己指導能力の育成について
 - 自己評価や他者評価を行う場を、授業や特別活動、学校行事等に位置づけ、振り返る場の設定を行い、自分の成長を感じ取ることができるようにしていきます。
- ②モラル教育の充実について
 - 道徳の授業を中心に、朝の会、帰りの会、集会などをおして、子どもたちのモラル（道徳的価値基準）を育む教育を積極的に行っていきます。

※次回は7月15日（金）15：30から多目的室にて行います。

